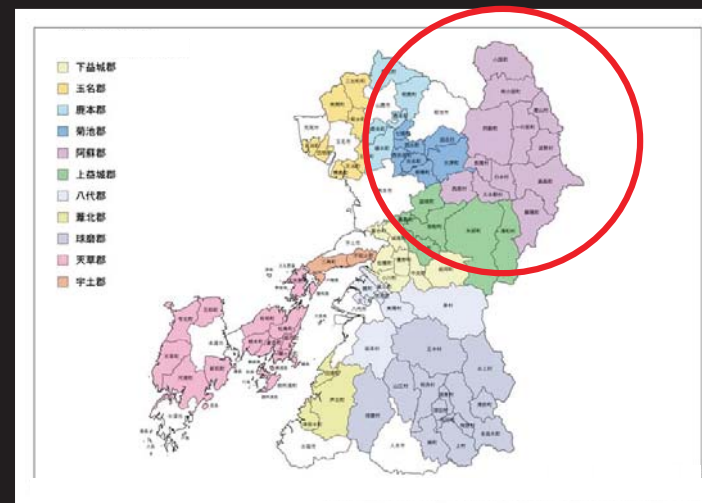


熊本地震

～想定外を想定内に～

熊本県西原村長 日置和彦

1



3



2



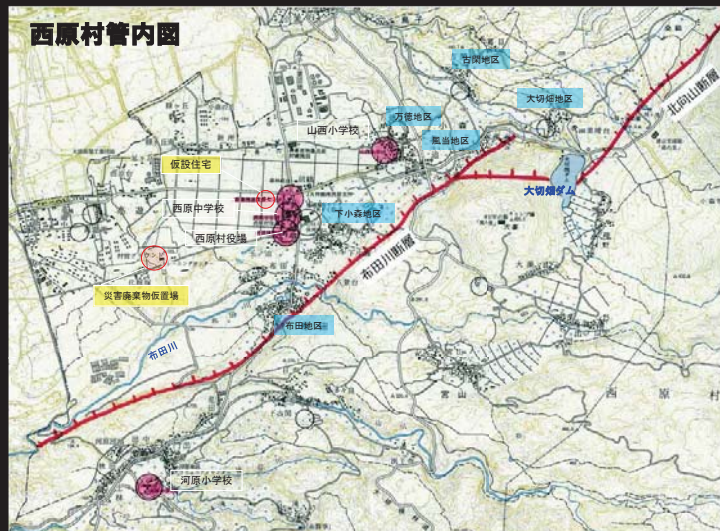
熊本県西原村

阿蘇外輪山の位置し、東西約9km
南北8.5km 総面積77.22km²で、「水と
緑とひかりの村」をキャッチフレーズに、
発展と人口増加を続けていました。

平成27年には経済指標ランキング
(農業や製造業、村の財政力など8部
門評価)で「競争力の強い村」として日
本一の評価を得ました。

人口は6,842人(H28.12月末現在)
県庁まで25分
熊本市中心部まで40分
東京まで90分
※阿蘇くまもと空港まで5分

4



5

西原村の地震発生状況 【震度5以上の地震】

2016/04/14	21:26発生	震度6弱
04/14	22:07発生	震度5強
2016/04/15	03:46発生	震度5強
2016/04/16	01:25発生	震度7
04/16	01:44発生	震度5弱
04/16	01:46発生	震度5強

7



6

大切畑地区 全景



34棟中30棟が全壊

集落全体の88%が全壊で半壊以上も含めると94%の住家が被災した。

他にも半壊以上の被災をした住家が5割以上となった地区が34地区あった。

8



風当地区 全壊家屋



風当地区 全壊家屋



布田地区 全壊家屋



万徳地区 全壊家屋



上鳥子地区 崩壊箇所



星田地区 崩落箇所



万徳地区 全壊した店舗兼家屋



神社(門出地区)



畜産農家牛舎(袴野地区)



公民館(風当地区)※集会施設

県道28号線(熊本高森線)



大切畑大橋(県道熊本高森線)



13

大規模林道(万徳宮山線)



15

北向山断層 (大切畑ダム付近)



14

崩落により通行止めとなった村道



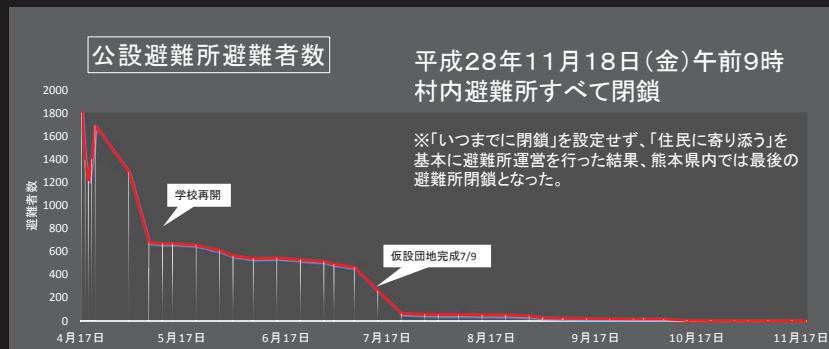
16

避難所の状況

避難所数(公設) 6箇所

避難者数(避難者数) 1809人(4月18日現在)

※その他、地域ごとの避難箇所や車中泊など4000人を越える村民が一時避難をした。



17

家屋の被害

2017/1/11現在

全壊	513棟
大規模半壊	196棟
半壊	652棟
一部損壊	1047棟
計	2408棟



解体件数 2017.12月末現在

申請数 828件 1488棟
解体済 982棟 (66%)

※平成29年3月末までに解体済み
90%を見込む

19

仮設住宅

■小森仮設団地

312戸(木造50戸、プレハブ262戸)
301世帯 841人

■みなし仮設(村内外)

146世帯 415人

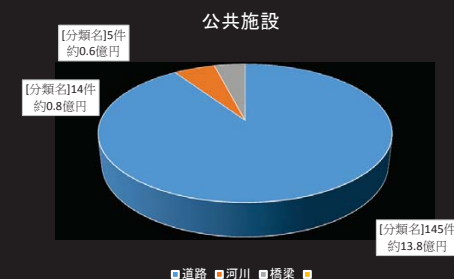
現在447世帯、1256人が仮設住宅での生活を余儀なくされている。



18

公共土木施設の被害概要

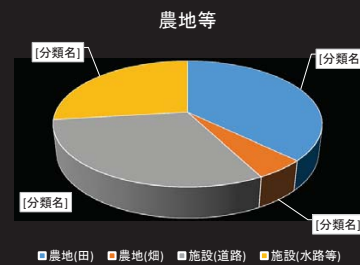
道路	145件	約13.8億円
河川	14件	約0.8億円
橋梁	5件	約0.6億円
計	164件	約15.4億円



20

農地等の被害概要

農地	田	222箇所	約2.9億円
	畑	43箇所	約0.4億円
施設	道路	100箇所	約2.4億円
	水路等	57箇所	約2.1億円
計		422箇所	約7.8億円



21

ライフラインの状況

【上水道】

4月16日 01時25分 全戸断水
 5月3日 工業用水道給水開始
 6月3日 村営水道ほぼ全域給水可能
 6月17日 村営水道全域に飲用給水開始

■ 村営水道の復旧事業費 6.9億円

【電気】

4月16日 01時25分 村内全域で停電
 4月18日 19時30分 全域復旧

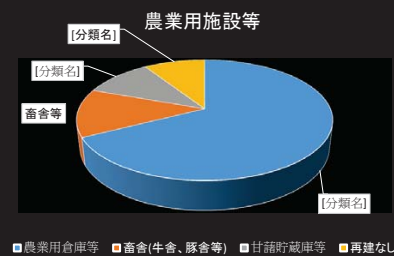


23

農業用施設等の被害概要

農業用倉庫等	235件
牛舎、豚舎等	45件
甘藷貯蔵庫等	36件
再建なし	32件

計 348件 約2.7億円



22

【想定外の出来事】

- 「震度7」規模の地震が発生したこと
- 前震があり、本震があったこと
- 人口7049人のうち、4000人を越える避難者
- 本震後の最初の食事で全避難者におにぎりひとつも配布出来なかったこと
- 村内各所の湧水が利用出来ず、水の確保不可

24

【想定内の出来事】

- 地震が発生したこと
- 地震を想定した「発災対応型防災訓練」を平成15年から隔年毎に実施をしていたこと
(避難や安否確認また自治会と消防団の連携)

25

孤立集落対策訓練



炊き出し訓練



起震車体験



救命救護訓練



27

発災対応型防災訓練

【概要】

地域住民の防災意識向上と、地域コミュニティの災害時連携を確立することを目的とした全住民参加型による防災訓練。村と消防団の共催により、2年に1回実施している。

【基本想定】

- ・前日までの大雨により地盤が脆弱な状態
- ・布田川断層を震源とする、M7.0の地震が発生し、阿蘇地域の各地で震度6弱～6強を観測
- ・複数箇所で被害が発生（火災、土砂災害、孤立集落、家屋倒壊 等）

【実施日時】

平成27年8月30日（日）午前8時30分

26

倒壊家屋捜索救助訓練



28

大切畑地区 人命救助(救出箇所)



29

災害復旧状況

県道熊本高森線迂回路(平成28年12月24日開通)



31

「想定外」を「想定内」に

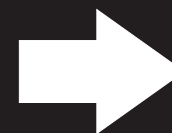


30

今後の課題

災害に対する応急対応や復旧工事など交付税措置などはあるものの、災害規模及び自治体の財政規模によっては、一時的な負担が大きくなり過ぎる。

災害は原型復旧が基本としながらも、創造的復興や更なる防災対策を考えると、原型復旧ありきでは将来性のある復興が難しい。



緊急的財政措置や、創造的な復旧を行う為の支援、積極的な推進を要望したい。

スピード感を持って質の高い復旧を進める為、人的・財政的支援など、可能な限りの事業推進を要望。

32

災害復旧は、早さも質も求められる・・・

必要なものは、

ひと と **かね**
(人材) (財源)

33

ご清聴 ありがとうございました。

西原村はこれからも
復旧、復興に向けて
全力で頑張ります。



34